

さいたま市議会議員

まなぶ

# 伊藤 仕



まっすぐ、  
マナブ。  


北区最年少 **36歳** 行動力重視!

～さいたま市議会 6月定例会～

会期: 6/6～29 (24日間)

- 6/6 開会…議案上程、議案説明、常任委員長報告など
- 6/7 本会議…質疑、委員会付託
- 6/11～13 本会議…討論、採決、一般質問
- 6/15～19 常任委員会
- 6/21～22、25 予算委員会
- 6/28 本会議…委員長報告

活動日頃より伊藤まなぶの活動にご理解とご支援を  
たまわりまして、心より  
感謝申し上げます。  
2018年の6月定例  
議会は、24日間で、  
約9億5千万円の一般  
計補正予算案など、23  
議案について議論がな  
れまされた。そのなか  
に、北区の地域の皆さ  
つに、ご報告いたしま  
いて、後、ご報告いた  
今、後、ご報告いた  
地域の皆さまの視点  
共に、様々な課題に取  
組んでいきます。お



【完成イメージ】

さいたま市には現在、5  
つの市営霊園があります。  
ただ、昨今は空きのない状  
況が長く続いているのが実  
情です。地域の皆さまから  
も、老後のさらなる「その  
後」を心配する声をいただ  
いております。

**市営霊園充実へ、いよいよ再整備  
地域のニーズを叶える「思い出の里」に**

そこで、さいたま市はこ  
の度、見沼区大谷の「思い出  
の里市営霊園」の一角に、新  
たな市営霊園を建設するこ  
とになりました。  
6月定例会では、補正  
予算も可決。今後もしっかり  
りと経過を見て参ります。

※議会提供資料より



◆今後のスケジュール  
 ・平成30年9月…入札、  
 契約  
 ・同10月…工事着工  
 ・平成31年3月…工事  
 検査、完了

さいたま市議会議員 **伊藤まなぶ事務所**

〒331-0812 さいたま市北区宮原町 3-326-1 2階

☎048-668-6065

お気軽にお立ち寄りください!

# なぜ今、霊園が必要？

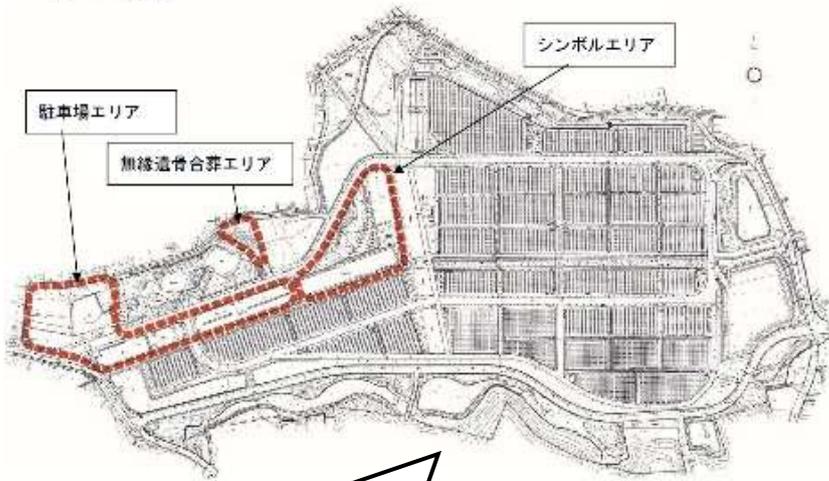
## 超高齢化→墓地不足の現状

■墓地需要推計（大阪府方式）

	推定死亡者数	墓地需要率	傍系世帯率	定住志向率	墓地必要数 (年平均)	累計	
H27~31	55,955	0.225	0.367	0.62	10,269	2,054	10,269
H32~36	63,611				11,674	2,335	21,943
H37~41	70,539				12,945	2,589	34,888
H42~46	76,064				13,959	2,792	48,847

「さいたま市墓地行政の基本方針（平成27年9月）」

■ゾーニング図



### ●「樹林型合葬式」で計画

樹木を墓標として、共同参拝する方式です。「豊かな緑に囲まれた墓地」を目標として、墓域内に墓標・シンボルツリーとなる樹木、外周部には墓域の背景となる樹木を植栽します。

「自然に還りたい」というニーズだけでなく、「子どもに負担をかけたくない」「単身者のため後の管理を頼める人がいない」といった昨今の核家族化、少子化、生涯未婚者の増加など、社会事情を踏まえたニーズにも応えるものです。

さいたま市は超高齢化が進んでいきます。市の試算によると、15年後には1年に亡くなる方が7万人を超え、市内で7万6千人を超える見込みです。累計で必要になる墓地は4万8千を超え、民間墓地との兼ね合いなどを考慮しても、1万7千ほど不足する計算です。一方、現在市が管理している5カ所の市営墓地は計2万

4千区画。しかも、平成24年度をもって新規募集は終了されており、それ以降は返還された墓地の再募集のみとなつていきます。そこで今回、見沼区の既設霊園である「思い出の里」を再整備し、新たに1万6千の墓地を確保することになりました。（あとの1千については自然循環などで釣り合いがとれるとの見通しです）

一般募集枠は1万の予定で、平成31年度内に利用できる。さいたま市が安心して暮らせるよう、地域の皆さまの声を聞きながら、今後のすまじの成長を見守ります。

### 【プロフィール】

大きな身体で小さなことこそコツコツと取り組む、「まっすぐに、マナブ。」が信条。さいたま市北区育ち。地元の宮原幼稚園、泰平小学校、栄東中・高で学び、学生時代より政治の道を志、大学卒業後、国会議員の公設第1秘書などを経験し、政治の現場で多くの政策立案や地域課題の解決などに全力で携わる。現在、皆様の声が政治の原点！に北区選出のさいたま市議会議員二期目。「まちづくり委員長」「市民生活委員長」「予算委員会理事」現在「文教委員長」などを務める。

